



阿久津 佳子 議員



## 市民サービス向上について

**問** 窓口での各種届出等手続きにおいて、市民サービス向上に業務DX<sup>(※)</sup>化が欠かせない。先進事例「ワンスオンリー（1回の手続き）・ワンストップ（1つの窓口で完結）サービス」の実証段階に入っている自治体がある。本市の次世代型行政サービスの実現、改革のスキーム、DX化に対する総論と進捗状況<sup>しんちよく</sup>について所見を伺う。

**答（企画政策部長）** ワンスオンリー、ワンストップ化は限られた職員での窓口運営には不可欠であり、課題として認識している。先行事例を研究しながら自治体情報システム標準化のスケジュールや自治体窓口のクラウド化等の動向を踏まえ、導入時期を検討していく。IT戦略プランの令和4年度の進捗は、当初計画した40の取り組みは全て着手できている。現行の状況に即して4つの取り組みを追加した。業務改善は進んでおり、引き続きDX推進に努めていく。



古河市役所 市民総合窓口

※DX…デジタルトランスフォーメーション（デジタル技術で社会や生活の形を変えること） ※訪問介護員…ホームヘルパー

## 障がいのある人への支援について

**問** 障がいのある人が安心して地域生活をする上で、訪問介護員<sup>(※)</sup>の担い手不足という深刻な課題がある。その解決策を伺う。

**答（市長）** 担い手不足解消に向け、県の第2期新しいばらき障害者プランでは人材確保、育成が明示されている。今後も県と協力し、障害福祉の現場が生きがいや働きがいのある魅力的な職場であることの周知に取り組んでいきたい。

**答（福祉部長）** 訪問介護の仕事内容が報酬と見合ったものでないことが原因と認識している。市単独では解決が難しいため、国県の動きを注視していく。



稲葉 貴大 議員



## (仮称) 古河市新公会堂について

**問** 文化施設の建設は、古河市民が大きな期待を寄せている。(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画の策定スケジュールと、開館までの期間短縮を模索するのかどうか、また、建設予定地について伺う。

**答（市長）** 市内の市街化区域ではある程度の面積を確保できる建設候補地が限られており、市街化調整区域内でも候補地を模

索している。現時点では明確な場所は示せないが、国県とも開発が可能な場所を調整している。

**答（企画政策部長）** 令和5年度から6年度にかけ計画を策定する。開館までの期間は(仮称)古河市新公会堂の整備に向けた検討報告書において、8年間としているが民間活力導入可能性調査により、PFI<sup>(※)</sup>等の事業手法が選択できた場合はスケジュールも変わってくると思われる。

## 古河市ブランド戦略について

**問** ブランド戦略は、業務委託し2年目だが、現在までの進捗状況と今後の取り組みについて、また、本事業の最終形をどのように考えているか伺う。

**答（副市長）** 暮らす市民が褒めるまちが形成され「華のある都市（まち）古河」の側面を担うことをゴールとする。市民が実感する市の魅力を集め発信し、移住・定住に結び付けたい。

**答（企画政策部長）** 市民意識調査を実施し、市の良いところを共有、共感するためのツールを揃えてきた。今後は市民が対外的に発信していくための取り組みをさらに広げ、継続していく。



古河市ブランド戦略ロゴマーク

## 《その他の質問》

・地域振興公社について

※PFI…民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して、公共施設等の建設、維持管理等を行う手法